

房日新聞

11月29日 日曜日

平成27年(2015年) 旧暦10月18日(先負)

THE BONICHI SHIMBUN

日刊 第19003号 (昭和27年8月23日 第3種郵便物認可)【月曜休刊】

148人が「観光の学び」

1年生がNPOと協働で授業

館山総合高

県教委が進める「魅力ある県立高校づくり」の一環として、「観光の学び」に取り組んでいる館山総合高校(安田健治校長)でこのほど、これまでの学びを振り返る授業があった。1年生148



生徒の前で話すゲスト＝館山総合高

人がNPO法人安房文化遺産フォーラム(愛沢伸雄代表)との協働で、校外学習をしてきた。市経済観光部プロモーター

外学習をしてきた。市経済観光部プロモーターがゲストとして、館山の観光について話した。

地元観光資源をあらためて知ろうと、校外学習を展開。1年生はバス4台に分乗し、赤山地下壕、青木繁『海の幸』誕生の小谷家住宅、布良崎神社、大蔵院のハンケル四面石塔、渚の駅などを見学した。NPOのガイドを受け、地元・館山の観光要素を現地で学んだ。

事前学習ではDVD「館山まるごと博物館」や同名の冊子で知識を重

ねた。現地では詳しい説明も受けた。生徒らは、何も無いと思っていたが、館山に深い歴史があった驚いた。「こんなに素晴らしい観光資源を多くの人に知ってもらいたい」「市民が文化財を大切にしていることに感動した」などの感想を残している。

仕上げの学習となった授業では、愛沢代表らがパワーポイントで生徒の感想を紹介。その後、ゲストとして石井課長が「館山市の観光の現状」、忍足次長が「幸せ値を生かして田舎暮らし」などを語り、館山の魅力を伝